

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成31年度

市町村名	富士見市			
提案事業名	びん沼自然公園等整備事業			
事業期間	平成31年度	～	平成32年度	
事業の必要性、目的	びん沼自然公園には、自然が多く憩いの場として利用されているが、市街地から離れているため、認知度が低く、利用者数は多くない。市としては、シティセールスの目玉の一つとなる場所であると考えており、賑わいを創出したいと考えている。隣接するびん沼川が、「川の国埼玉はつつプロジェクト」に採択され、これを機に、市内の子育て世代を中心に多くの人を訪れるよう魅力ある整備を進める。			
成果指標	(成果を検証する指標) 市民意識調査(公園の整備・緑地の推進)			
	(成果検証の具体的な方法) 市民意識調査(平成33年度実施予定)			
	(上記の指標を設定した理由) 魅力ある公園を整備することで、市民の満足度が上昇すると考えられる。また、平成33年度までに整備予定の公園は当該公園のみであることから、上記の指標を設定する。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (平成30年12月現在)	63.10%	目標値 (平成33年12月時点)	66.00%
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)	未定	稼働率(目標)(%)	未定
住民への公表方法及び特記事項	市広報紙、ホームページ、民間事業者等を通じて市民への公表を行う。			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成31～32年度 構成事業

構成事業名	ハード/ソフト	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① びん沼自然公園整備事業	ハード	平成31年度：実施設計、測量・地質調査 平成32年度：造成工事、メイン施設、イベント広場、大型遊具、駐車場、トイレ 魅力ある整備を進めることにより、市民満足度が上昇すると考えられる。	平成31年度事業費 34,000 平成32年度事業費 未定
② 市内周遊促進事業	ハード ソフト	平成32年度：案内板、ガイドブック 市内主要施設に案内板を設置するとともに、ガイドブックを作成し、認知度を上げ、当該公園に足を運んでもらう。	
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
合計			

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	はつつプロジェクトによる整備を始め、大型遊具など魅力ある整備を進めるとともに、案内板等により認知度を上げ、来園を促す。また、民間事業者に管理運営を任せることにより、更なる魅力向上を図る。
成果指標の達成見込み	上記具体的な方策により、達成可能と見込む。